

NPO法人 日本歯科放射線学会
第232回関東地方会・第40回北日本地方会・第28回合同地方会
学術講演プログラム

期日：2021年8月21日（土）

14:00～17:20

会場：ZoomによるWeb開催

世話人会ご案内

関東地方会世話人会（12:00～12:30）

北日本地方会世話人会（12:00～12:30）

合同地方会世話人会（12:30～13:20）

担当世話人 飯久保 正弘
東北大学大学院歯学研究科 歯科医用情報学分野 教授
東北大学病院 頸口腔画像診断科 科長
東北大学病院 周術期口腔健康管理部 部長

<ご案内>

参加者へ

1. 合同地方会への参加は、下記リンク先のWebページにて参加登録をお願いいたします。

[[参加登録はコチラ](#)]

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZwvdOqtqTMiHNDDiEJyqhu8U5ArJDHCKASH>

2. 学会参加費2,000円を個人ごとに下記の振込先口座へお振込みをお願いいたします。

入金確認と学会の参加確認が完了しましたら、後日、参加証と領収書をお送りいたします。

<振込先口座>

*ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：八一八（ハチイチハチ） 店番号：818

預金種目：普通預金

口座番号：3916886（郵便局・ゆうちょ銀行から振り込む番号8桁の一桁目を取った7桁です）

口座名義：トウホクダイガクシカイヨウジョウホウガクブンヤ ガッカイジュンビインカイ

*郵便局・ゆうちょ銀行から振込む場合

記号：18140

番号：39168861

受取人名前：東北大学歯科医用情報学分野 学会準備委員会

参加者へ<ご視聴について>

- ・参加登録後に参加登録済メールが自動送信されます。学会参加・視聴は、メールに記載されている参加URLをclickして起動するZoomアプリケーションにてご視聴ください。
- ・事前にZoomアプリケーションのインストールを推奨いたします。
- ・通信環境の良い場所でご参加ください。
- ・可能な限りマイク付イヤホンやヘッドセットをご利用ください。
- ・参加中、PC負担軽減のため、発表者以外はマイクとビデオをOFFにしてください。

発表者へ <発表要項>

1. 発表時間は8分、質疑応答は2分です
2. 発表データはPower pointを使用した動画ファイル（MP4ファイル）を作成し、8/12(木)までに合同地方会事務局までお送りください。
*動画作成方法と動画ファイル送付方法の詳細については、個別にメール連絡いたします。
3. 演者は、事前に事務局とZoom上での動画試写と質疑応答の方法、接続等についての確認を行います。
4. 当日、演者は発表セッションの開始20分前までにZoomミーティングに入室してください。
5. 利益相反や著作権、個人情報などにはご配慮くださいますようお願い申し上げます。
6. 学会後、事後抄録（演題名/所属/氏名を含む400字程度：Word ファイル）をメールにてご提出ください。

お問い合わせ先

<第232回関東地方会・第40回北日本地方会・第28回合同地方会 担当事務局>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1

東北大学大学院歯学研究科 歯科医用情報学分野

担当世話人：飯久保 正弘

準備委員長：小嶋 郁穂（E-mail : ikuhokojima@tohoku.ac.jp）

TEL : 022-717-8390 FAX : 022-717-8393

プログラム

開会の挨拶（14：00）

開催司会人：飯久保 正弘（東北大・歯）

一般演題 Session 1 デビュー・若手セッション（14：10～15：00）

座長：庄司憲明（東北大・歯）

1. 歯科用チタン製インプラントとジルコニア製上部構造体のCTアーチファクトに関するファントム研究

北見遼二¹、泉 雅浩¹、印南 永¹、谷口紀江¹、香西雄介²、櫻井 孝¹

1 神奈川歯科大学 画像診断学講座

2 神奈川歯科大学 教育企画部

2. 超音波、CT、MRI、¹⁸F-FDG PET/CTにおける頸部リンパ節転移の検出精度の比較

高村真貴¹、新國 農¹、小林太一¹、曾我麻里恵¹、池 真樹子¹、勝良剛詞¹、西山秀昌¹、阿部達也²、

山崎 学²、丸山 智³、田沼順一^{2,3}、林 孝文¹

1 新潟大学大学院医歯学総合研究科 頸顎面放射線学分野

2 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔病理学分野

3 新潟大学医歯学総合病院 歯科病理検査室

3. パノラマX線画像における歯と歯槽頂の描出についての検討

大島貴之¹、浅海利恵子¹、小倉 晋²、河合泰輔¹

1 日本歯科大学生命歯学部 歯科放射線学講座

2 日本歯科大学附属病院 口腔インプラント診療科

4. パルスジェットを用いたう蝕軟化象牙質除去に関する研究

佐藤由加¹、西岡貴志¹、長沼由泰²、依田信裕³、高橋正敏⁴、中川敦寛⁵、高橋信博⁶、佐々木啓一³、

富永悌二⁵、飯久保正弘¹

1 東北大学大学院歯学研究科 歯科医用情報学分野

2 東北大学病院 障害者歯科治療部

3 東北大学大学院歯学研究科 口腔システム補綴学分野

4 東北大学大学院歯学研究科 歯科生体材料学分野

5 東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野

6 東北大学大学院歯学研究科 口腔生化学分野

5. 頸顎面補綴治療における嚥下透視検査の有用性

泉田一賢^{1,2}、熊坂 晃^{1,2}、後藤弓里子^{1,2}、小山重人^{3,4}、佐々木啓一³、飯久保正弘^{1,2}

1 東北大学大学院歯学研究科 歯科医用情報学分野

2 東北大学病院 周術期口腔健康管理部

3 東北大学大学院歯学研究科 口腔システム補綴学分野

4 東北大学病院 頸口腔再建治療部

休憩 — 15分間 —

Session 2 一般口演（15：15～16：15）

座長：古内 壽（東北大・歯）・菅原由美子（東北大・歯）

6. 口腔癌患者における乳突蜂巣炎発症リスクの検討

中村 伸、渡邊 裕、倉林 亨

東京医科歯科大学大学院 口腔放射線医学分野

7. HSP40ファミリーDNAJA1と変異p53間のinteractionを介した癌転移促進機構

戒田篤志、三浦雅彦

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔放射線腫瘍学分野

8. 強度変調放射線治療で使用したマウスピースにおける固定精度の評価

鈴鹿正顕^{1,2}、富田雅義¹、中田明宏¹、箕輪和行²

1 日鋼記念病院 放射線科

2 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学講座放射線学教室

9. MR画像所見に基づいた頸関節症の治療・管理目標設定の試み

小林 馨¹、五十嵐千浪¹、伊東宏和¹、中島和則¹、枝 卓志¹、大蔵眞太郎¹、若江五月¹、三島 章²、宇田川孝昭²、奥山 祐²、岩崎武士²、吉田雄樹²

1 鶴見大学歯学部 口腔頸面放射線・画像診断学講座

2 鶴見大学歯学部附属病院 画像検査部

10. マルチアングルインジケータの試用経験

寶代隆弘¹、里見智恵子¹、浅井孝史郎¹、仲田恵里佳¹、渡邊 裕²、江島堅一郎³、新井嘉則³、本田和也³

1 日本大学歯学部付属歯科病院 放射線室

2 東京医科歯科大学大学院 口腔放射線医学分野

3 日本大学歯学部 歯科放射線学講座

11. 造影CTでガス産生像を認めた薬剤関連頸骨壊死の1例

新垣理宣^{1,2,3} 坂本潤一郎³ 名生邦彦⁴ 大橋崇志⁵ 廣瀬太郎⁶ 宮本健志⁷ 依田哲也² 倉林 亨³

1 群馬県立がんセンター 歯科口腔外科、

2 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 頸顎面外科学分野、

3 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔放射線医学分野、

4 群馬県立がんセンター 頭頸科

5 群馬県立がんセンター 薬剤部

6 群馬県立がんセンター 形成外科

7 群馬県立がんセンター 乳腺科

休憩 — 15分間 —

特別講演（16：30～17：20）

座長：飯久保 正弘（東北大・歯）

「がんゲノム医療の現状と実際」

城田 英和先生

(東北大学医学系研究科 地域がん医療推進センター 准教授)

閉会の挨拶（17：20）

合同地方会 情報交換会（17：30～18：30）

特別講演 「がんゲノム医療の現状と実際」

城田 英和先生

(東北大学医学系研究科 地域がん医療推進センター 准教授)

生命科学の進歩によりゲノム解析が普及し遺伝子レベルの情報が急速に臨床の現場に活用されてきている。ゲノム解析により判明した遺伝子塩基配列の個人差や遺伝子・分子異常を検査し、その特徴に対して、ピンポイントで効果が期待できる分子標的薬を用いる次世代型の医療が可能となってきた。本院ではがんゲノム医療のさきがけとして、2017年春よりがん遺伝子パネル検査を自由診療で開始している。がん遺伝子パネル検査は次世代シーケンサーを用い、がんに関連する100～400を超える遺伝子の変化を網羅的に検出する検査である。がんゲノム医療とはその遺伝子変異に基づく分子標的薬を患者に提案していく個別化医療のことである。がん遺伝子パネル検査の結果を解釈することは非常に難しく、本院ではがんゲノム診断カンファレンスと呼ばれるエキスパートパネルで議論を行い、患者に提案する治療の決定を行っている。このカンファレンスには診療医だけでなく、遺伝専門医、遺伝カウンセラー、分子生物学者、薬剤師、看護師等の多職種が参加しており、患者の治療方針決定だけではなく遺伝性腫瘍の有無、患者への伝え方、適応外の治療薬の使用方法についてなど様々な角度からの議論が行われ、患者へ適切にがんゲノム医療が提供される。この実績などを基に本院は2018年3月にがんゲノム医療中核拠点病院に指定された。東北地方の中核拠点病院に指定されたことにより、現在は東北6県の各大学病院を含めた8つのがんゲノム医療連携・拠点病院とWebカンファレンスの形式でがんゲノム診断カンファレンスを行なっており、参加者が100人を超える大規模キャンサーボードを主催するかたちとなった。この講演ではがんゲノム医療中核拠点病院の東北大学病院の取り組みを紹介する。

ご略歴

【学歴】

1996年3月 福島県立医科大学医学部卒業

2002年3月 東北大学大学院医学系研究科 医科学博士課程修了

【職歴・所属】

1996年4月- 自治医科大学内科レジデント

2002年4月- 米国食品医薬品庁 生物製剤評価研究センター 博士研究員

2008年4月- 米国国立衛生研究所 国立癌研究所 スタッフサイエンティスト

2012年6月- 東北大学病院 がんセンター 先進包括的がん医療推進室 講師

2017年8月- 現職、東北大学医学系研究科 地域がん医療推進センター 准教授

現在に至る